

(仮称) 能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会 設立趣意書

日本全体で人口減少が見込まれる中で、秋田県の県北地域においては、より急速に人口減少が進んでおり、すぐに歯止めをかけることは極めて困難な状況にあります。経済規模の縮小や深刻な人手不足が、更なる人口減少の加速につながるといった負のスパイラルが想定される中で、地方創生に取り組んでいくには、それぞれの地域が、地域資源を十分に活かした地域振興策を展開していくことが重要であると考えます。

日本海沿岸北部はその風況の良さから、国内有数の風力発電の適地とされ、数多くの陸上風力発電が設置されています。また、秋田県では全国に先駆けて港湾区域内における洋上風力発電事業の公募を行い、選定された事業者によって事業化に向けた準備が進められています。さらに秋田県北部の一般海域においても、先進的な事例となる洋上風力発電計画の調査が実施されており、これらの建設拠点として能代港の利活用が有望視されています。加えて、山形県から青森県、北海道にかけても、多くの洋上風力発電の検討がなされており、導入拡大に向けた制度設計の後押しを受け、今後本格化していくと見込まれます。

こうした中、風という地域資源を有し、洋上風力発電の有望な候補地の中心に位置している地理的好条件に恵まれている能代港を洋上風力発電の拠点としてインフラ整備を進めることが必要と考えます。このことにより、能代港を中心とした広範囲な一般海域を含む洋上風力発電の建設コストが低減され、導入が促進されます。また、県北地域全体、ひいては秋田県沿岸地域の産業振興が図られ、雇用創出やビジネスチャンスが拡大し、地域経済の発展に大きく寄与するとともに、国が目指す将来に向けた望ましい電源構成の確立にも貢献でき、日本全体の安定・安価な電力供給、経済の国際競争力の向上に資すると考えます。

ここに産学官金が結集し、我が国における洋上風力発電関連産業の振興を図るため、行政や関連産業界が一体となって能代港の洋上風力発電の拠点化を目指した取り組みを進める「能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会」を設立しようとするものであります。

平成30年5月31日

(仮称) 能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会
設立準備会会長 能代市長 齊藤 滋宣

能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会設立準備会

名 称	役職	代表者
能代市	市長	齊藤 滋宣
大館市	市長	福原 淳嗣
男鹿市	市長	菅原 広二
鹿角市	市長	児玉 一
北秋田市	市長	津谷 永光
三種町	町長	田川 政幸
八峰町	町長	森田 新一郎
能代商工会議所	会頭	広幡 信悦
大館商工会議所	会頭	中田 直文